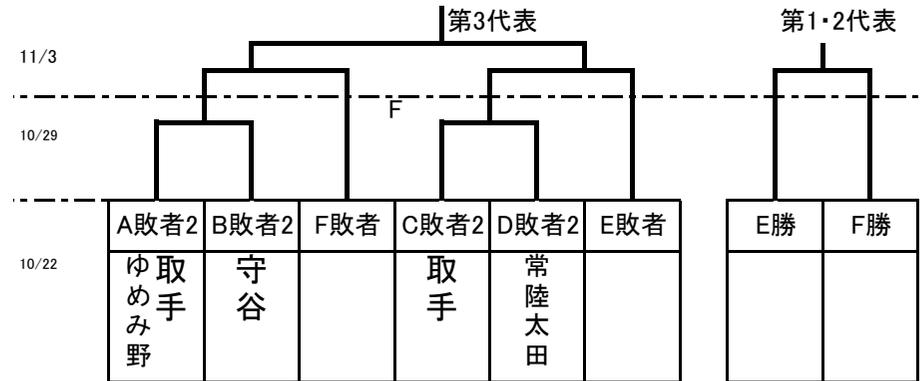
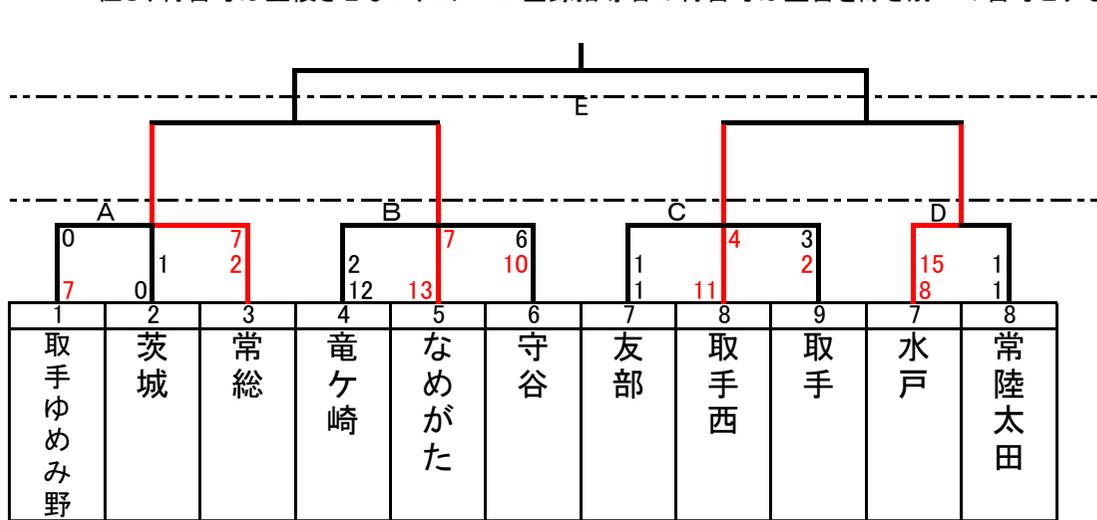


2023 第17回 NAA杯フレッシュマン大会茨城ブロック

大会要領

期 日:10月22日、29日、11月3日 予備日:11月4日

- ・試合時間 第一試合 9:00 第二試合 11:00 第三試合 13:00
- ・ベンチは若い番号が1塁側とする
- ・試合時間は2時間とする、2時間を超えては次の回に入らない。
- ・リーグ戦・トーナメント戦共に7回終了時点又は2時間を超えての場合はタイブレークに入る1死満塁で打者は前回正規に打撃を完了した次の打順の打者とする。走者は前項による打者の前の打順の者が一塁走者、その前の打順の者が二塁走者、三塁走者は二塁走者の前の打順の者が成る。代打・代走は認められる。タイブレークは3イニングまで継続し未決着の場合は抽選とする。
- ・巴戦の場合、3チームが1勝1敗で同率のときは巴戦2試合の失点率の小さいチームを上位とする。それでも同点のときは、イニング数の多いチームを上位とし、それでもなお同点のときは、くじ引きとする。(ダブル戦も同じとする)
- ・コールド適用:3回13点, 4回10,点5回以降7点(決勝戦も同様とする)
- ・特別継続試合における投球数は試合が成立するまでは1日の投球可能数90球以内とする。
- ・各チームは審判員2名(審判員は第一試合の1時間30分前に集合)*チーム帯同の審判員の弁当は支給しません。
- ・参加費:グラウンド使用料「1試合」2,500円及び弁当代案分額(支部大会と同様に会場担当チームは役員及び派遣判員の弁当を用意する)
- ・試合球:3個(練習球可;公認メーカーの刻印のある球)。*試合後参加チームに返却。
- ・ロージン:1個。*参加チームに返却。
- ・合同チームはユニホームなど野球用具は各チームの物を使用する。
但し、背番号は重複させない、2チーム登録指導者の背番号は監督を除き別々の番号とする。



優勝:
準優勝:
第三位:

- A: 取手シニアグラウンド D: 山吹運動公園野球場 リーグ戦: 第1試合は若いチームからの組合せ第2試合は第1試合の敗者対残りチーム
- B: 竜ヶ崎KKスタジアム E: なめがたシニアグラウンド
- C: 友部シニアグラウンド F: 取手シニアグラウンド

< 様式 A >

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】(試合終了後チームで保管)

大会名 : 2023 フレッシュマン大会茨城ブロック

チーム名 : _____

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS	
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数												
1		球	可・否	球	球												
2		球	可・否	球	球												
3		球	可・否	球	球												
4		球	可・否	球	球												
5		球	可・否	球	球												
6		球	可・否	球	球												
7		球	可・否	球	球												
8		球	可・否	球	球												
9		球	可・否	球	球												
球場責任理事(役員) 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

【投球数制限】

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④ 上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン後、球場責任理事(役員) 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2023 フレッシュマン大会茨城ブロック

チーム名 : _____

試合日 : _____年 _____月 _____日 (第 _____試合)

球場名 : _____

< 記入例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正	正正正	正正正	正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注) 五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】													
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④ 上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投げられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 様式 B' やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ② 試合終了後、責任審判員が保管する。

リトルシニアの投球数制限に関する統一ガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

- ① 1日最大90球以内とする。 (投手 A～F)
- ② 連続する2日間で130球以内とする。 (投手 ABCE)
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。 (投手 D・E)
- ④ 上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。 (投手 A・D・E)
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球を可能とする。 (投手 F)
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。
(例：2ボール・1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
- ⑧ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑨ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑩ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

投手の投球数制限における投球可能数のケース

(投球数)

	第1日目	第2日目	第3日目	※第4日目	※第5日目	第6日目	予備日	
投手 A	※ 90 (93)	※ 40 (46)		90	※ 40 (42)		※ 90 (92)	・・・ 上記 ①・②・④
投手 B		79	※ 51 (56)		44	※ 86 (91)		・・・ 上記 ①・②
投手 C		※	※ 40	※ 90 (95)		89	※ 41 (45)	・・・ 上記 ①・②
投手 D	68	※ 22 (26)	※ 40 (42)		87	※ 3 (6)	※ 40 (45)	・・・ 上記 ①・③・④
投手 E	82	第一試合 21 第二試合 ※ 27(30)		46	第一試合 25 第二試合 ※ 19(22)	※ 40 (46)		・・・ 上記 ①・②・③・④
投手 F	※ 90 (95)		90		※ 90 (94)		※ 90 (92)	・・・ 上記 ①・⑤

※ ()内は打席の途中で制限数に達し、当該打者の打席終了まで実際に投じた投球数を示す。

以上